

2026年2月5日
NTT 東日本株式会社 神奈川事業部

地域畜産農家へエコフィードマッチングシステムを通じて災害備蓄食料品を提供

～ 地域循環型社会の実現をめざして ～

NTT 東日本株式会社 神奈川事業部(執行役員 神奈川事業部長:相原 朋子、以下「NTT 東日本 神奈川事業部」)は、神奈川県が運用しているエコフィードマッチングシステム^{*1}を通じて、神奈川県内の畜産農家に古くなった災害備蓄食料品を提供しました。



1. 取り組み背景

神奈川県では、畜産業の持続可能な生産体制の構築と輸入飼料の依存からの転換をめざして、エコフィードを活用した飼育を行う神奈川県内の農家、エコフィードとして食品残さを提供してくれる食品関連事業者等を募集しており、エコフィードマッチングシステム^{*1}を構築・運用しています。

地域循環型社会の実現をめざす、NTT 東日本グループでは、エコフィードマッチングシステムの構築・運用に関わる^{*2}一方で、定期的に入れ替える災害備蓄食料品が、成分・保存期間・利便性などの面で、エコフィードに活用しやすいことに注目し、社員の地域貢献活動 & SDGs 教育にも資する取り組みとして、今回の取り組み実施、提供に至りました。

^{*1}<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/w5c/cnt/f100400/index.html>

^{*2}https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/detail/20230512_002.html

2. 災害備蓄食料品の提供に関する取り組み

- (1) 提供内容: 約 200kg(乾燥米飯: 190kg <約 1900 食分>、ビスケット: 10kg <約 300 食分>)
- (2) 提供先: エコフィードマッチングシステムに登録する神奈川県内の畜産農家
- (3) 提供までの工程:
 - ①エコフィードマッチングシステムへの事業者登録・提供品登録、畜産農家とのマッチング

- ②畜産農家に提供できるよう、個別包装からスプーン・乾燥剤等を取り出す
- ③畜産農家が使いやすい形状に詰め替え
- ④畜産農家への引き渡し

3. 当社の提供先である畜産農家のコメント

「エコフィード活用は、もともと地域の学校給食の食品残さを使って、美味しい豚肉を子ども達に食べてもらいたい想いからスタートしています。近年では、学校給食の食品残さの活用先が変わったこともあり、食品事業者等と連携して新たな形で取り組みを継続しており、多くの企業に地域循環の取り組みを理解・賛同してほしい。」
「近年の飼料価格高騰を踏まえると、家畜の飼料としてエコフィード利用を促進することは、持続的に事業運営するために有効な手段のひとつ。それを運搬コストや労力を低減させながら神奈川エリアで循環させていく仕組みが出来れば、乾物だけでなく、日持ちしない素材も有効活用できるので望ましい。多くの農家・企業がエコフィードに関心を持ってもらえると嬉しい。」

4. ボランティアに関わった社員の体験コメント

「SDGsに寄与する有意義な施策だと思う。個人的に困窮者等向けのフードバンクのお手伝いをしているので、備蓄品は内容により用途を判断しつつ、今回のように有効活用していくことが大事だと感じた。」
「災害備蓄品の有効活用について言葉や知識として知っていたが、実際に提供までのプロセスに参加することで、作業の工程、留意点なども把握でき、非常に良い経験となった。良質な飼料化に向けての手間など、普段では経験できないことが多く、身をもって勉強することができた。」
「提供するまでの作業工程に稼働負担もあるが、廃棄すればコストも発生するし、地域経済・社会環境的な意義を考えると、多くの企業の災害備蓄食料品の有効活用が広がることを願いたい。」



5. 本件に関する報道機関からの問い合わせ先

NTT東日本 神奈川事業部 企画総務部 企画部門 広報担当

TEL:045-226-6123 E-mail:kanagawa-kouhou-ml@east.ntt.co.jp